

ACL 操作資料

(使用環境 : Windows XP SP3 , ACL v9.1 Desktop Edition)

【データの取込方法 (Excel / ODBC 経由)】

ACL に ODBC 経由で Excel データを取り込む手順を説明します。
なお、プロジェクトは予め作成されているものとします。

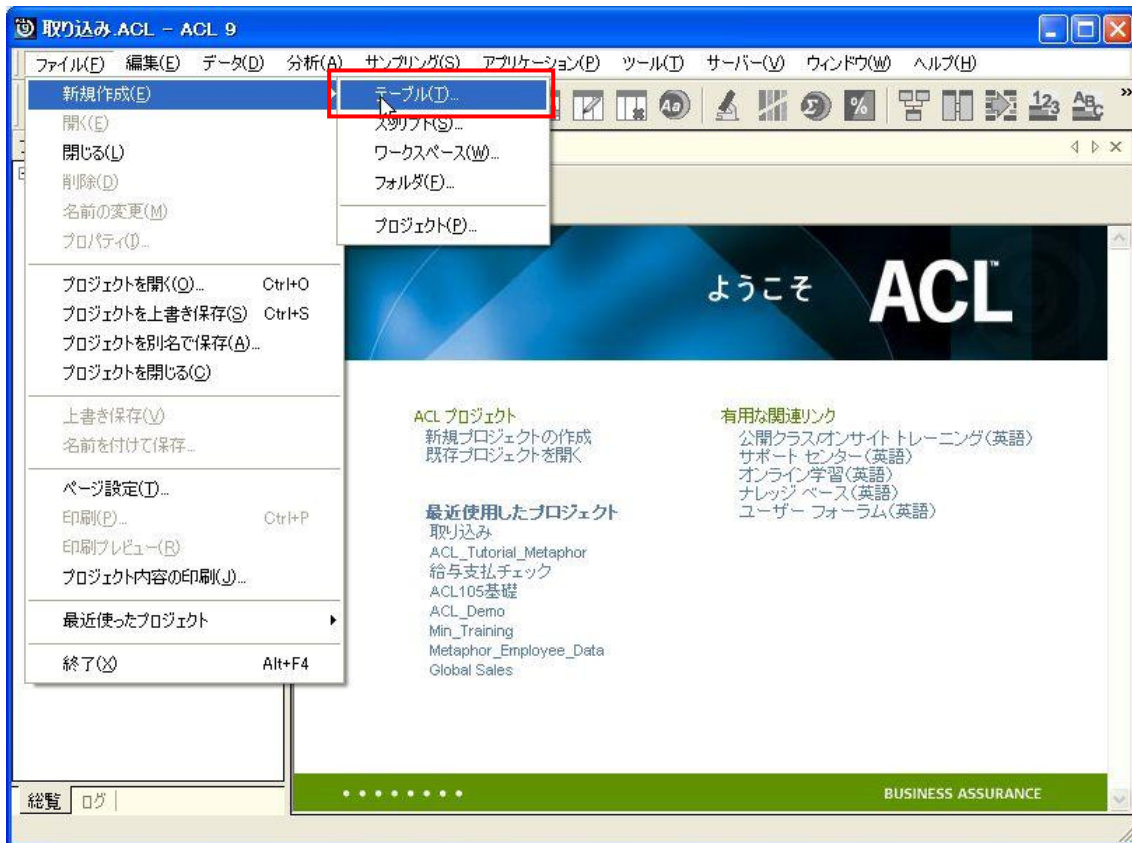
【補足】ODBC とは？

ODBC (Open DataBase Connectivity) は Microsoft 社提唱のデータベース接続規格です。
各データベース専用の「ODBC ドライバー」を経由することで、様々なデータベースにアクセスしデータを取得することができます。

<作業手順>

1. データ定義ウィザードの起動

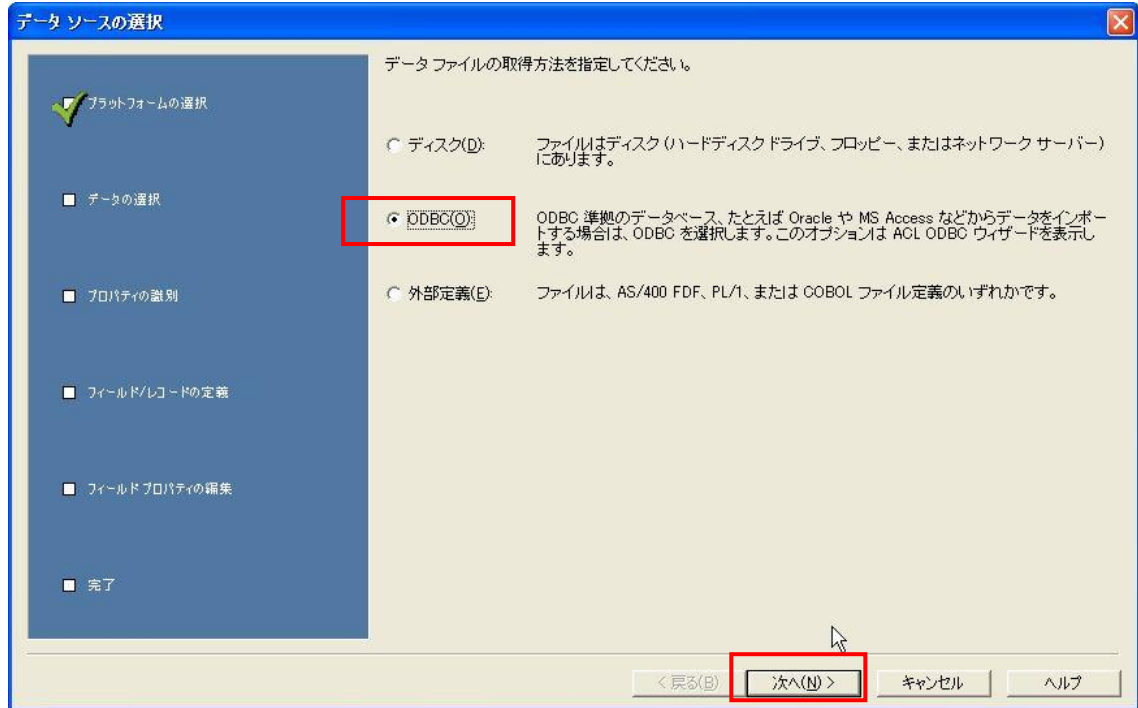
[ファイル | 新規作成 | テーブル]の順に選択し、データ定義ウィザードを起動します。



2. データの取得方法

データの取得方法を選択します。

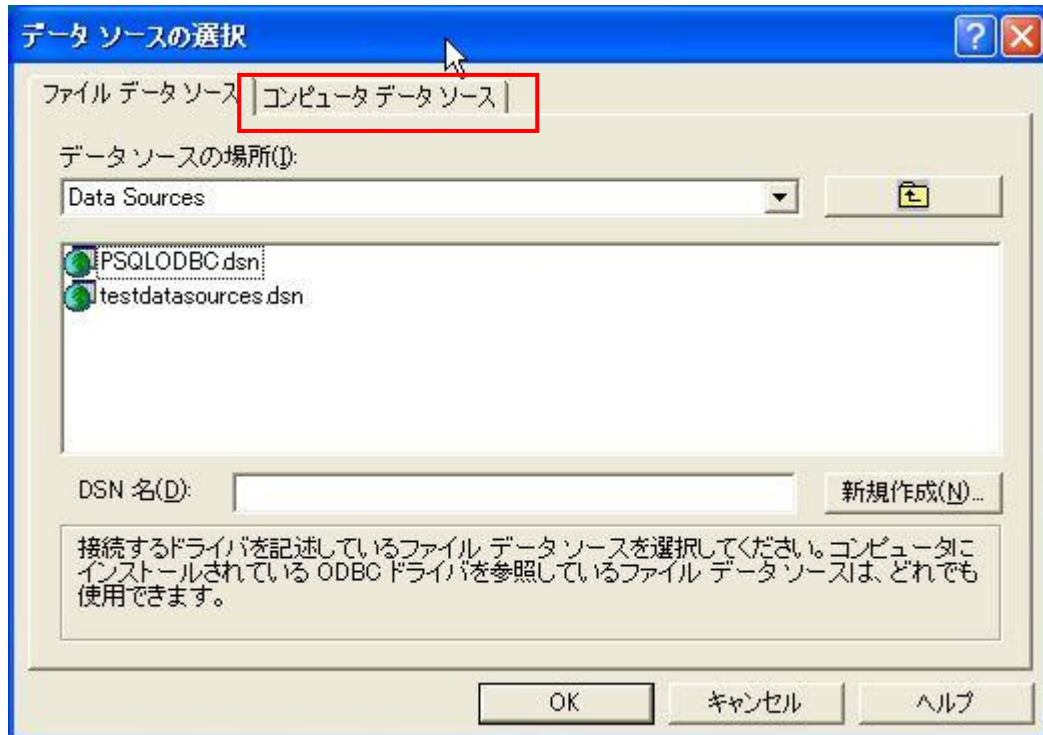
起動した[データ定義ウィザード | データ ソースの選択]画面で[ODBC]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



3. データソースの選択

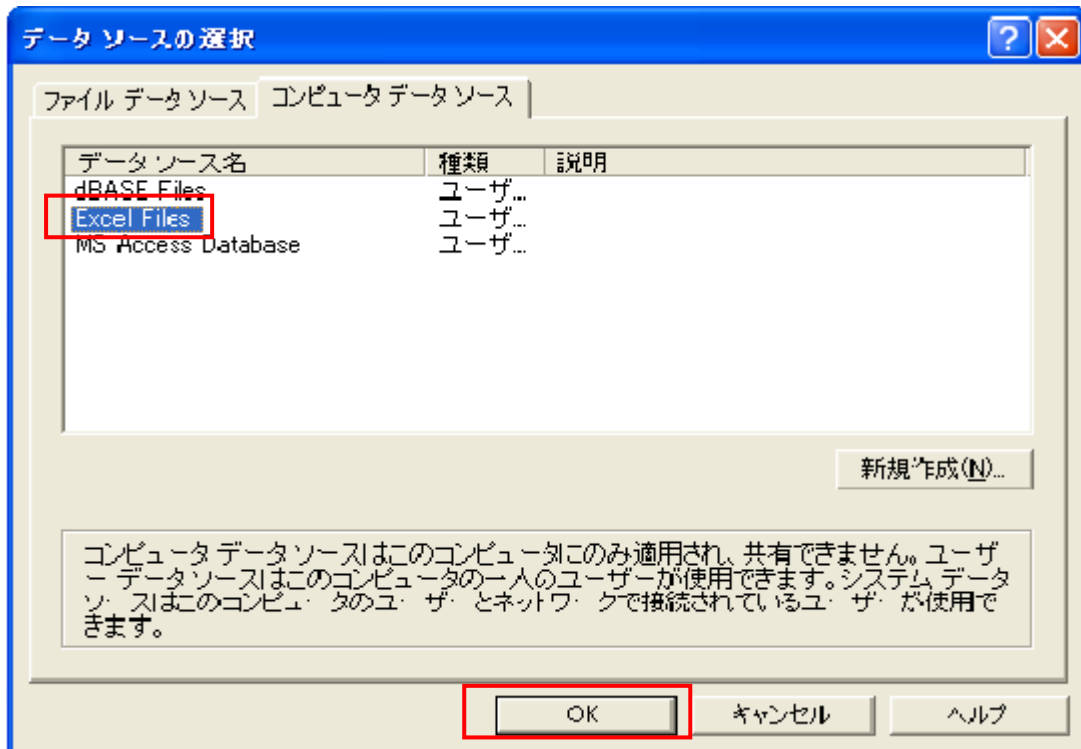
目的のデータソースを選択します。

[データ ソースの選択]画面で、[コンピュータ データ ソース]タブをクリックします。



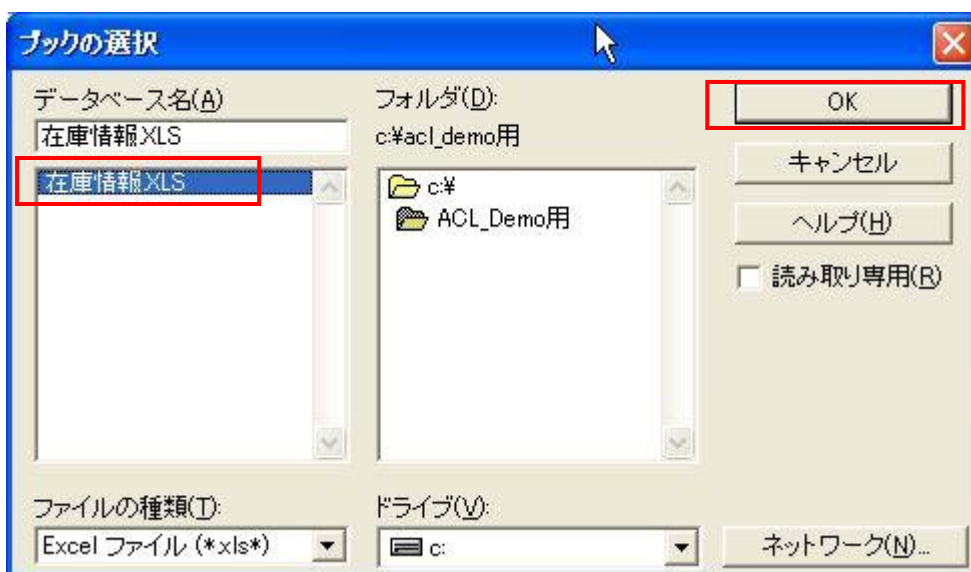
4. データソースの選択

[Excel Files]を選択して[OK]ボタンをクリックします。



5. ブックの選択

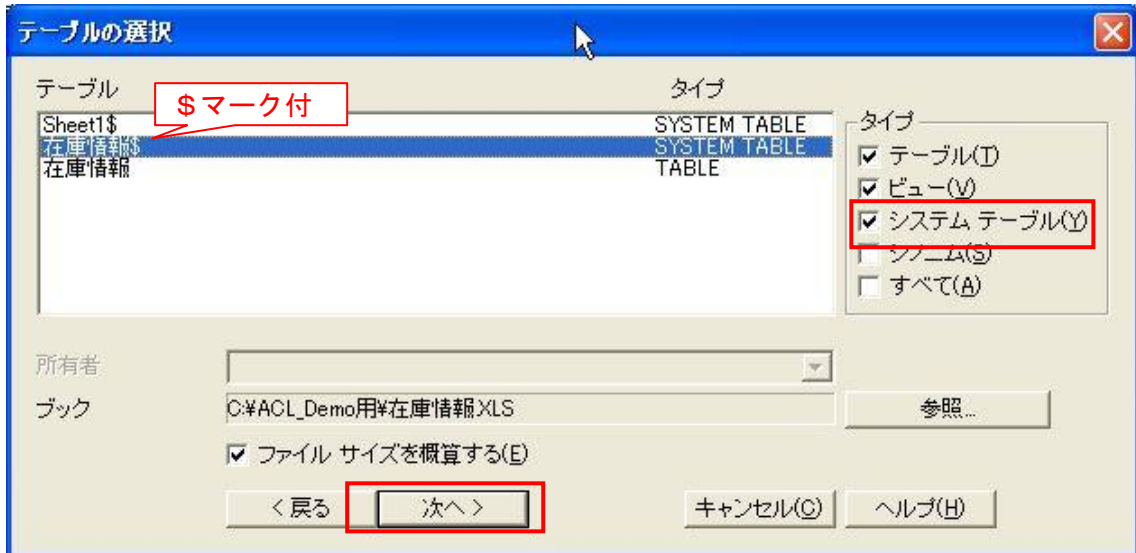
該当の Excel ファイルが存在するフォルダからファイルを選択して[OK]ボタンをクリックします。



6. テーブルの選択

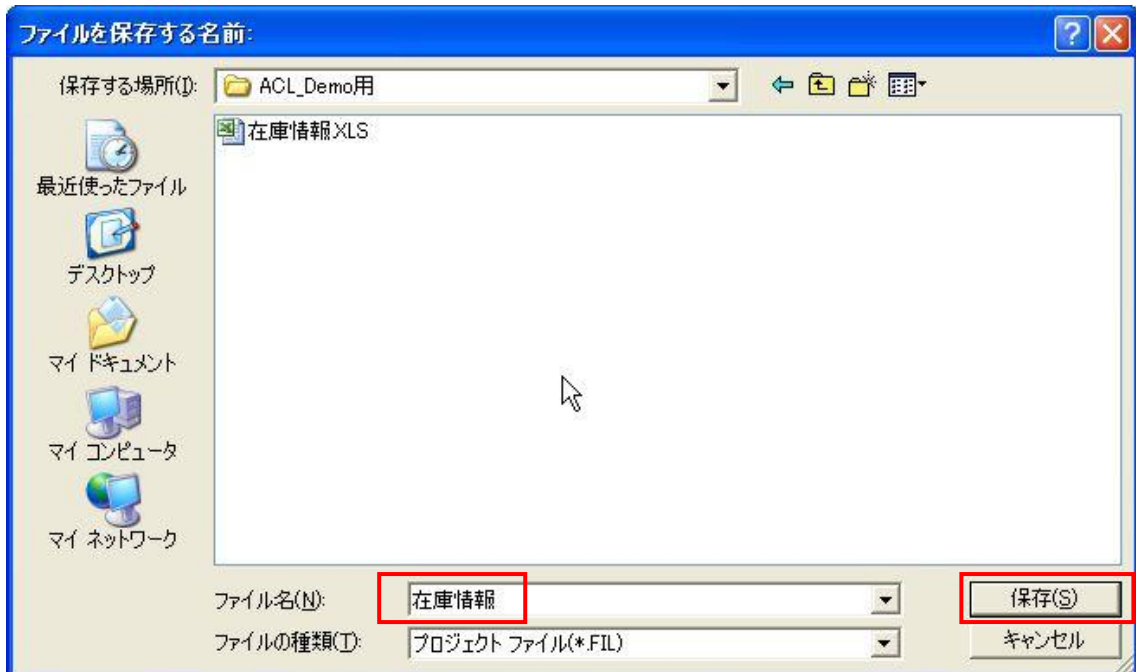
★タイプ[システムテーブル]の項目にチェックを入れます。

該当の Sheet (「\$」マーク付) を選択して[次へ]ボタンをクリックします。



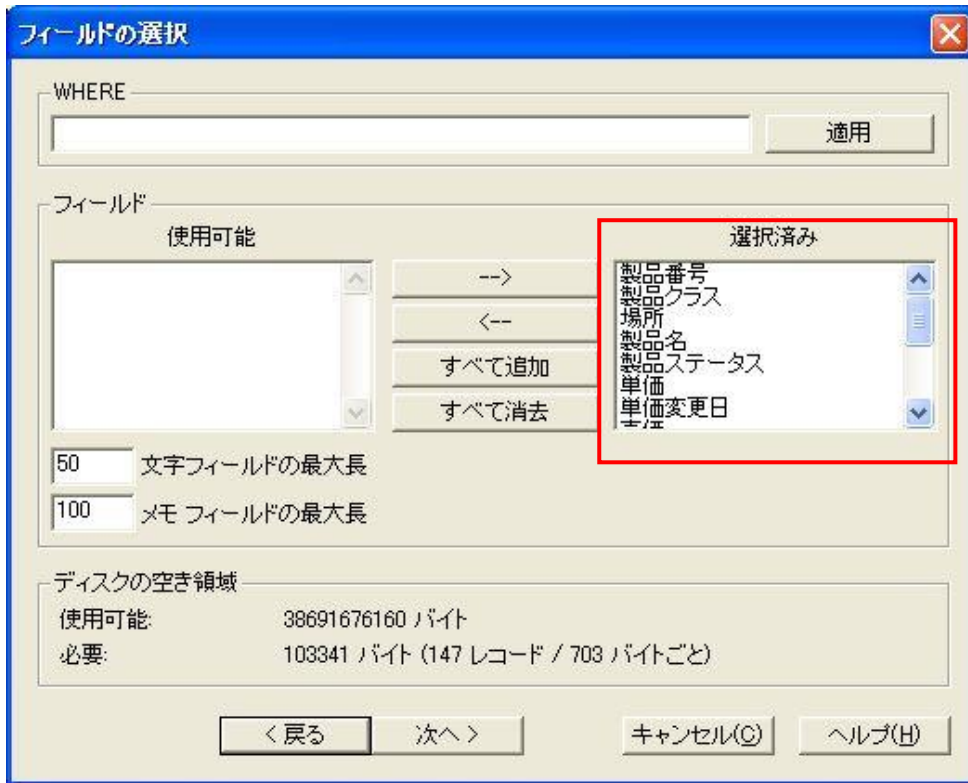
7. ファイルの保存

ACL で使用する FIL ファイルとして保存します。ファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックします。

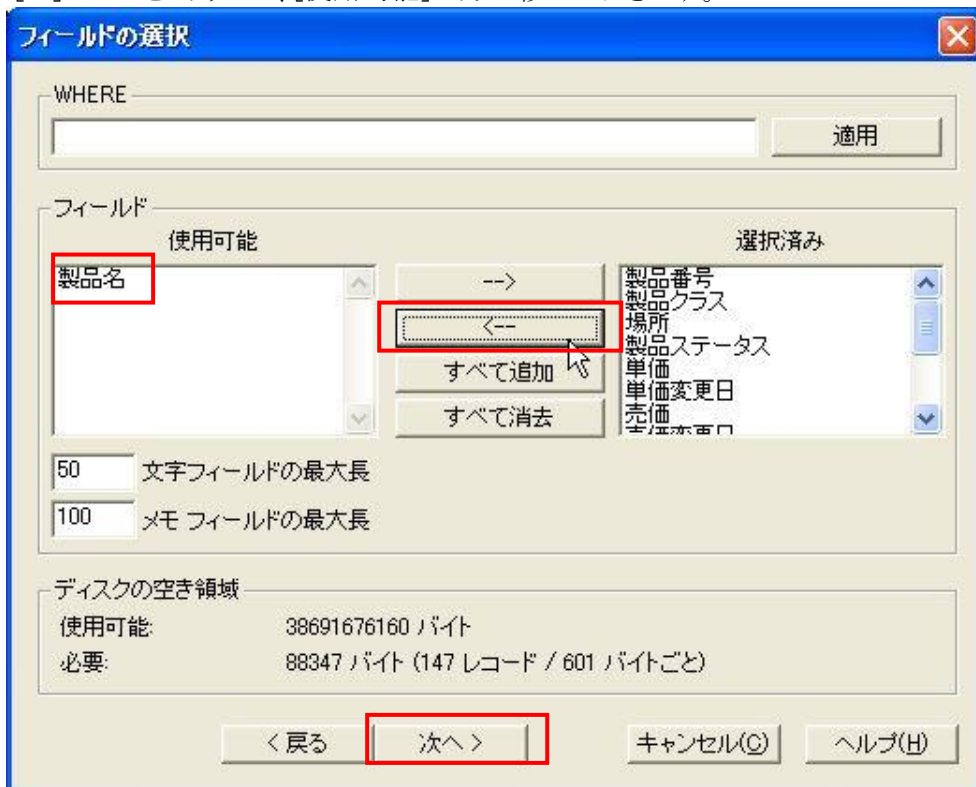


8. フィールドの選択

[フィールドの選択]画面が表示されます。ACLに取り込むフィールドを選択します。デフォルトでは全てのフィールドが「選択済み」になっています。

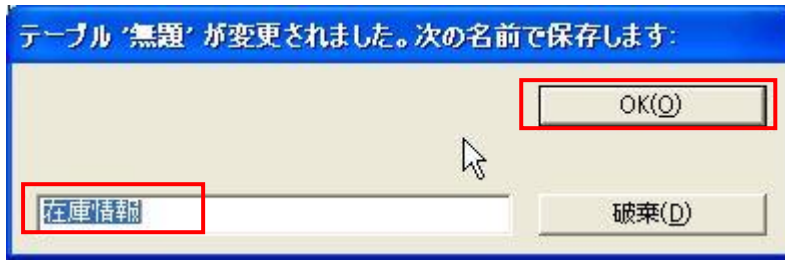


※ACLに取り込む必要のないフィールドがある場合は、フィールド名を選択して[←]マークをクリックし、[使用可能]の方に移しておきます。

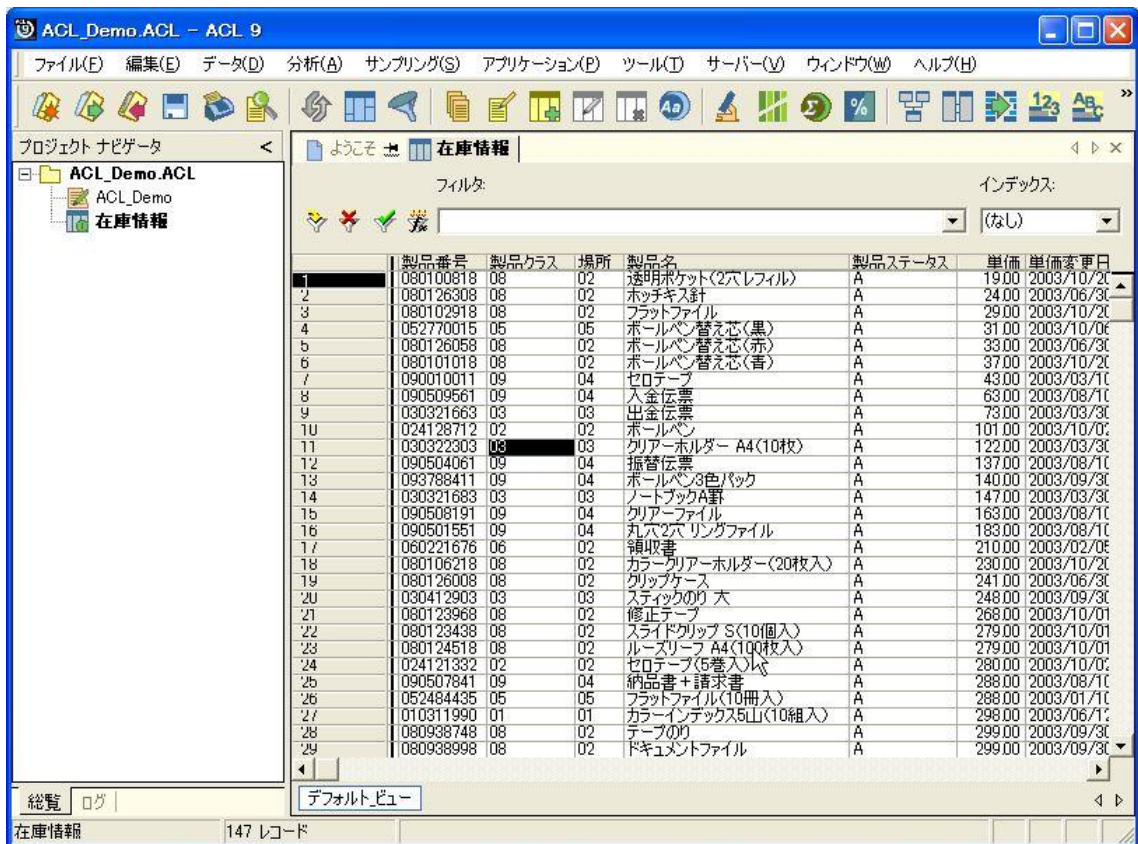


9. ACL 上でのテーブル名の決定

テーブルの名前を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



10. ACL に読み込まれたデータが表示されます。



作業は以上です。